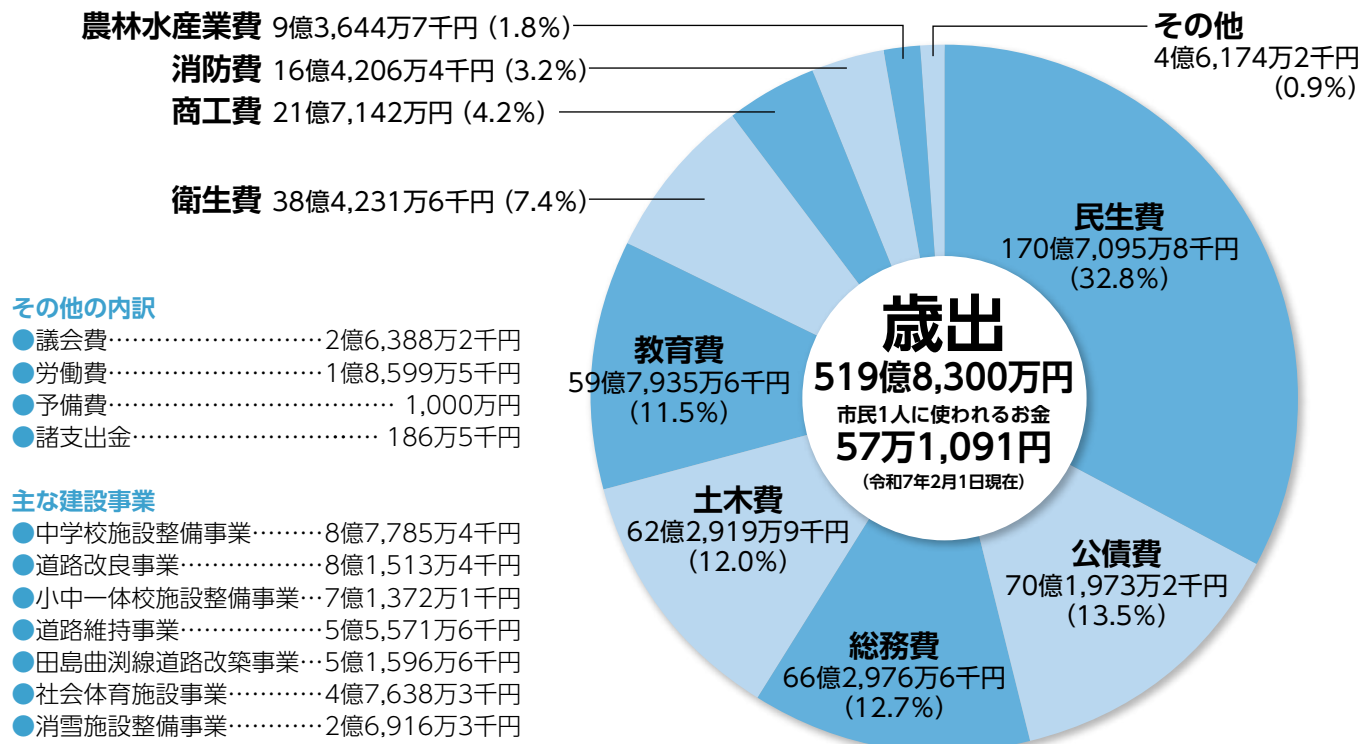
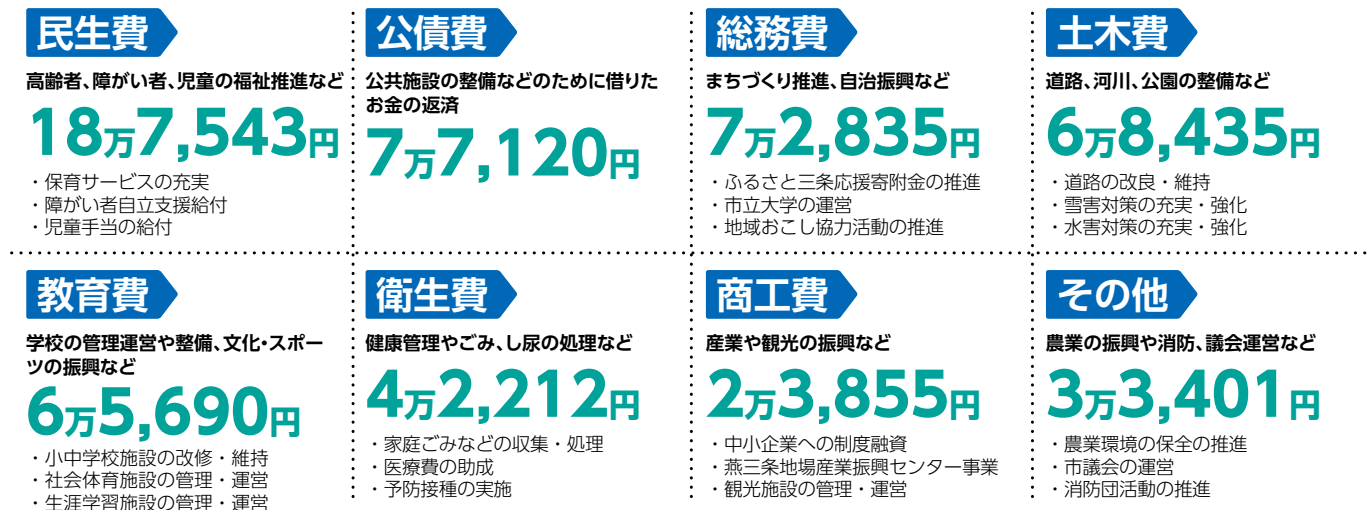




市民1人当たりの予算額と主な事業



市債と基金の状況

市債とは、主に建設事業を行うために、国や金融機関などから借り入れる資金のことです。これは、公債費として長期間にわたって返済していきます。

基金とは、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て、または定額の資金を運用するために、条例の定めに基づいて設置した財産のことです。

会計名など		令和7年度末現在高見込額	令和6年度末現在高見込額	増減額	増減率
市債	一 般 会 計	574億6,931万6千円	598億7,325万1千円	△ 24億393万5千円	△ 4.0%
企業債	水 道 事 業 会 計	51億428万5千円	39億4,635万4千円	11億5,793万1千円	29.3%
	下水道事業会計	167億1,690万7千円	172億3,637万4千円	△ 5億1,946万7千円	△ 3.0%
基 金		120億4,505万1千円	184億8,951万4千円	△ 64億4,446万3千円	△ 34.9%
	うち財政調整基金	*32億2,091万6千円	90億5,174万8千円	△ 58億3,083万2千円	△ 64.4%

* 令和7年度末現在高見込額の財政調整基金は、令和6年度末現在高見込額から令和7年度運用益を積み立て、令和7年度当初予算に計上した繰入額を差し引いたもの

令和7年度当初予算

財務課
☎34-5526

令和7年度の当初予算が、3月の定例市議会で決定しました。

ふるさと三条応援寄附金により財政調整基金残高が過去最高水準に達した一方で、物価高騰や人件費の増加が見込まれています。人口減少が急激に進み、必要な職員や税収の確保が厳しくなる中で、三条市をさらに選びたいというまちにしていけるため、事務事業の見直しに取り組み、明るい未来に向けて市政を展開していきます。

一般会計予算は
519億8,300万円
(前年度に比べて3.8%増)



予算とは、1年間に入ってくるお金を見積もって、その使い道を決めたものです。納めていただいた税金や、国や県からの交付金などが、どのような事業にどれくらい使われるのかを示しています。予算は、その目的によって、3種類の会計（一般会計、特別会計、企業会計）に分けられます。

会 計 名			令和7年度予算	令和6年度予算	増減額	増減率
一 般 会 計			519億8,300万円	500億7,100万円	19億1,200万円	3.8%
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業		80億650万円	81億6,760万円	△ 1億6,110万円	△ 2.0%
	後 期 高 齢 者 医 療		14億9,830万円	14億9,770万円	60万円	0.0%
	介 護 保 険 事 業		108億100万円	106億880万円	1億9,220万円	1.8%
	勤 労 者 福 祉 共 済 事 業		1,840万円	2,170万円	△ 330万円	△ 15.2%
合 計			723億720万円	703億6,680万円	19億4,040万円	2.8%
企 業 会 計	会 道 計 業	収 益 的 支 出	20億7,746万円	20億8,198万4千円	△ 452万4千円	△ 0.2%
		資 本 的 支 出	17億2,364万1千円	10億1,753万8千円	7億610万3千円	69.4%
		合 計	38億110万1千円	30億9,952万2千円	7億157万9千円	22.6%
	事 下 業 水 会 道 計	収 益 的 支 出	25億791万6千円	25億1,112万3千円	△ 320万7千円	△ 0.1%
		資 本 的 支 出	31億8,649万6千円	33億6,644万8千円	△ 1億7,995万2千円	△ 5.3%
		合 計	56億9,441万2千円	58億7,757万1千円	△ 1億8,315万9千円	△ 3.1%

